

# ローズヒップ「バーテルズパンプキン」の 台付け位置及び整枝量

福島県農業総合センター 作物園芸部花き科

## 1 部門名

花き—その他の花木—整枝・剪定

## 2 担当者

鈴木安和・宗方宏之・鈴木宏和

## 3 要旨

ローズヒップは、秋の実物として需要が多く、露地で栽培が可能であるため、本県の中山間地域への導入が有望視されている。しかし、その栽培特性が十分把握されていないため、代表的な品種である「バーテルズパンプキン」の台付け位置及び整枝量が生育及び切り枝品質に及ぼす影響について明らかにした。

(1) 台付け位置が15cmの整枝無しか、台付け位置が30cmで、1/3程度の枝を整枝して仕立て本数を3～6本程度にすることによって、60cm以上の実付きの良い切り枝を収穫することができる(図1、2)。

(2) 発生した枝の本数によって整枝量を加減する必要がある。



図1 ローズヒップ「バーテルズパンプキン」

(左 60cm以上の実付きの良い切り枝  
右 台付け後の株)

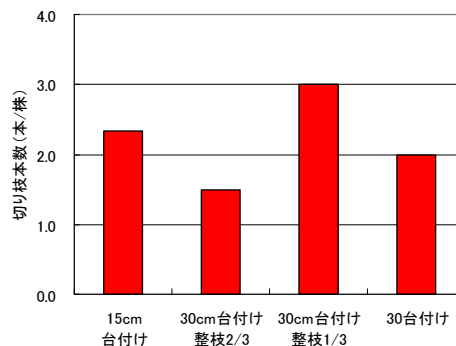


図2 台付け位置及び整枝量による60cm以上の切り枝本数への影響  
(2010年 品種:バーテルズ パンプキン)

## 4 主な参考文献・資料

(1) 平成20～22年度センター試験成績概要